

第 30 回佐久新校再編実施計画懇話会

日時：令和 8 年 5 月 22 日（金）
午後 6 時から午後 7 時 30 分
会場：長野県佐久合同庁舎講堂

<次 第>

1 開 会

2 挨 拶

3 新構成員・事務局員紹介

4 会議事項

(1) 第 29 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ

(2) 学びのイメージについて

- ・野沢北高校 S S H 採択の報告
- ・学びのイメージについて（全日制・定時制）

(3) プロジェクト K（校名・校歌・校章）について

- ・スケジュール（相関関係）について
- ・アドバイザー報告
- ・コンセプト（概要）の意見交換

(4) その他

- ・除却工事に向けた学校の現状と課題の共有

5 その他

第 31 回佐久新校再編実施計画懇話会について

【日時】 7 月下旬から 9 月上旬の開催で調整中

【会場】 現在調整中

6 閉 会

新校再編実施計画懇話会開催要綱

(目的)

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」(以下、「懇話会」という。)を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

(会議事項)

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- (1) 学校像、教育方針等に関すること
- (2) 校地・施設・設備等に関すること
- (3) 管理運営等に関すること
- (4) 教育内容等に関すること
- (5) その他、県教育委員会が必要と認める事項に関すること

(構成員)

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者(校長、教職員等)、地域の代表(自治体関係者、産業界の代表等)、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

(開催期間)

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

佐久新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

◎ = 座長 ○ = 新構成員

区分	氏名	所属等
自治体	畠山 啓二	佐久市 副市長
	神津 長生	佐久市教育委員会 教育長
	○山浦 みつ子	南佐久郡町村教育委員会連絡協議会 会長
産業界	坂川 和志	佐久商工会議所 副会頭
	渡辺 仁	佐久総合病院 統括院長
	白鳥 敬日瑚	マイクロストーン株式会社 代表取締役社長
学識経験者	坂江 千寿子	佐久大学 学長
地域	廣末 恵子	社会医療法人恵仁会 医師
	滝沢 裕之	佐久地域振興局 局長
	◎吉岡 道明	佐久市教育委員会 前教育長（座長）
同窓会	吉岡 徹	野沢北高等学校同窓会 会長
	長田 芳子	野沢南高等学校同窓会 会長
PTA	後小路 正人	野沢北高等学校 P T A 会長
	小林 京子	野沢南高等学校 P T A 会長
	山崎 由香	全佐久 P T A 連合会 顧問
学校関係者	○堀籠 英和	佐久中学校長会 会長
	○石川 政好	佐久小学校長会 会長
再編対象校	酒井 宗路	野沢北高等学校 生徒会長
	小林 颯介	野沢北高等学校 生徒会副会長
	今村 奏音	野沢北高等学校 生徒会副会長
	中沢 美羽	野沢南高等学校 生徒会長
	水澤 琉生	野沢南高等学校 生徒会副会長
	武田 倭奈	野沢南高等学校 生徒会副会長
	柳沢 敬	野沢北高等学校 校長
	赤羽根 弦	野沢北高等学校 教諭
	○原 多恵子	野沢南高等学校 校長
	齋藤 桂似郎	野沢南高等学校 教諭

事務局

野沢北高等学校		野沢南高等学校		高校再編推進室	
○大池 裕達	(教頭)・事務局長	篠原 豪	(全・教頭)・副事務局長	柳沢 勝美	主幹指導主事
赤羽根 弦		篠原 俊介	(定・教頭)	土橋 邦彦	主任指導主事 (佐久新校担当)
澤田 浩文		齋藤桂似郎		○竹前 操	主任指導主事 (佐久新校副担当)
○齋藤 恭兵		阿藤 正彦		貝野 宗司	主事 (佐久新校担当)
○三石 達也		小須田勝夫		学びの改革支援課	
○松本 英知		○森泉 美空		○駒込清太郎	指導主事 (佐久新校担当)

第 29 回 佐久新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時	令和 8 年 (2026 年) 2 月 5 日 (木) 18 時 00 分～19 時 30 分
場所	長野県佐久合同庁舎 講堂
出席 (敬称略)	吉岡道明、篠原秀郷、坂川和志、渡辺 仁、白鳥敬日瑚、坂江千寿子、廣末恵子、滝沢裕之、吉岡 徹、長田芳子、後小路正人、小林京子、山崎由香、白鳥貴文、酒井宗路、小林颯介、今村奏音、中沢美羽、武田倅奈、柳沢 敬、赤羽根弦、中村信秋、齋藤桂似郎 以上 23 名
傍聴者	12 名
事務局	野 沢 北 高 校：田中教頭 (事務局長)、澤田教諭、清水教諭、磯田教諭 野 沢 南 高 校：篠原(豪)教頭 (副事務局長)、篠原(俊)教頭、山口教諭、阿藤教諭、小須田教諭 県教育委員会：柳沢主幹指導主事、土橋主任指導主事、高野主任指導主事
当日資料	次第、第 28 回懇話会まとめ、学びのイメージ (定時制) について、 校名・校歌・校章について

会議事項

- (1) 第 28 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) 学びのイメージ (定時制) について
- (3) 校名・校歌・校章について
- (4) その他

主な内容(要旨) →高校再編推進室回答

- (1) 第 28 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ

事務局から説明。

【質疑・意見】 なし

- (2) 学びのイメージ (定時制) について

事務局から説明。

< 修正内容 >

- 表題および三つの「ゆう」の表現を修正。
- 三つの柱については大きな変更をせず、それぞれの具体例を記載し、専門用語についての説明を追加。
- 学校が生徒像を示すのではなく、佐久新校の学びを提示し、その学びに惹かれた生徒に来てほしいという考えから、下部の「次のような生徒を待っています」を削除。
- 全体をすっきりとまとめるために、図や情報量を最小限に調整。

【質疑・意見】

- ・表現が子どもたちの視点になっており、非常によい。
- ・修正前の方がデザイン性に優れていたため、そのスタイルを踏襲してほしい。
- ・全体的に色味がやや地味に見えるため、もう少し明るい印象になるとよい。
- ・学びの積み上げを示す段階のイメージは有効だが、性別で分けて描く必要性には疑問があり、ジェンダーレスの観点から見直すべきではないか。
- ・「より良い人間関係」という体言止めは、関係の有無や形成過程が不明確で、表現として検討の余地がある。

- (3) 校名・校歌・校章について

高校再編推進室から説明。

< 提案内容 >

- 佐久新校では、校名・校歌・校章の検討を同時並行で進める新たな方式で実施。
- プロジェクト名を「プロジェクトK」とし、親しみやすくわかりやすい名称で業務を推進。
- 座長・両校校長教頭・県教委担当者の計 8 名で構成するワーキンググループ (WG) を設置し、プロジェクト全体を牽引。
- 統一したコンセプト (理念やイメージ) のもとで検討し、一貫性や一体感を重視。
- 佐久ゆかりの専門家をアドバイザーとして招き、多角的な視点から助言を得る。アドバイザーは、令和 8 年 6 月までに決定する見通し。

- コンセプトはWGを中心に検討し、懇話会での意見交換や両校生徒の意見（文化祭企画等）も反映しながら策定。
- 校名選考は、公募→一次選考→二次選考を経て、令和9年5月頃に最終候補2～3案を決定する流れ。
- 最終校名案の決定は、校歌・校章との同時発表を実現するために、アドバイザーとWGに一任。
- 公募から最終校名候補2～3案への絞り込みは年度をまたぐため、構成員交代の可能性があるが、必要なスケジュール確保を優先し、提案した案の時期に実施。
- 懇話会には進捗状況を随時報告し、議論の透明性を確保。

【質疑・意見】

- ・コンセプトは核心であり、またアドバイザーの役割も重要である。懇話会で多様な意見が出ることを踏まえ、WGにおいて理念に沿った案を十分にまとめ、無用な混乱が生じないように進めて欲しい。WGの力量に期待する。
- ・スケジュールの表では、まずコンセプトの概要を検討し、その後詳細を詰め、さらにその詳細検討と並行して校名選考や校歌・校章制作を進める構成となっている。本来であれば、コンセプトを十分に固めてから各種の取組みに着手するのが一般的であるため、本案ではコンセプトが途中でぶれることのないよう進めて欲しい。
- ・文化祭で生徒主体の取組みができることは非常に良いが、具体的にどのような活動を想定しているか教えてほしい。
- 文化祭において、どのような関わり方や何を行うかを生徒自身で主体的に考えてもらいたい。そのため、事務局側から具体的な活動内容を指示する形にはしたくない。生徒のアイデアを活かすためにも、コンセプトの概要として大きな理念や軸を固めておく必要がある。文化祭で出た生徒の意見をコンセプトの詳細部分に反映していきたいと考えている。
- ・文化祭では、コンセプトの概要だけでは意見が出しにくいと感じるので、概要とあわせて詳細も示すことができるとうい。
- コンセプトの詳細を最初から固めてしまうと、生徒を含めた多様な意見を反映しにくくなるため、まずは大まかな概要を示し、そこに寄せられる多様な意見を踏まえて詳細をつくり上げていく流れを考えている。
- ・アドバイザーは何名を予定しているのか。
- アドバイザーが複数名の場合、意見集約が難しくなる可能性がある。そのため、全体を統括し、方向性を整理していただける方1名の配置を予定している。
- ・コンセプトとは、学びのイメージのようなものを指しているのか。それとも、それとは異なる概念なのか確認したい。
- これまで議論を重ねて作り上げてきた学びのイメージは、新校の理念や目指す姿を反映したものであるため、それがコンセプトのベースとなる。
- ・校歌・校章やパンフレット、Webページなどの制作は、教員が通常業務と並行して担うには限界があるため、外部専門家等へ委託する体制を整えて欲しい。デザイン会社やデザイン関係に進んだOB・OGなど校外の力や生徒の力の活用を検討すべき。また、Webページは初期制作段階に予算をかけてほしい。
- ・生徒が文化祭等でこのプロジェクトに関わるということはとても良いが、それが形骸化せず、当事者意識を持って主体的に関われるようにしてもらいたい。
- ・提示された表では分かりにくいところがあるので、コンセプト決定や校名・校歌・校章、文化祭などについて、誰が関わり、どのように決定するのか明確になるよう修正した方がよい。

(4) その他

高校再編推進室から報告。

令和7年12月25日（木）、佐久新校創設推進協議会の柳田会長をはじめ代表者4名が来庁し、要望書が提出され、県教育委員会武田教育長が受領した。要望内容は、生徒の通学安全の確保と、令和8年度から着手する工事に関する事項である。これらの要望については、教育委員会として対応を進めるとともに、必要に応じて知事部局や県警本部と連携し、関係機関と協力して取り組んでいきたいと考えている。

その他

【次回】第30回懇話会

日程：新年度5月頃の開催で調整中

会場：調整中

夢のある平和で豊かな未来を共創する「知」の探究校

- 高い志で夢のある未来を実現し、地域・日本・世界に貢献する人を育む
- 基礎学力に加え、新時代を切り拓く「創造力」と「探究心」を育む
- 他者との協働により、多様な価値観を共有し、豊かな人間性を育む

【第一志望の成就】

難関大学や医学部、国公立・私立大学および海外大学進学や資格取得等
生徒が目指す、多様な“第一志望”を実現

【グローバルな視野で自らの未来をデザインする新しい進学校】

- ◇ 進路実現に向け主体的に科目選択できる「進学重視型単位制」 ◇
- ◇ アカデミックサポーター (OB・OG) と連携した進学指導の充実 ◇
- ◇ 大学・研究機関・企業・自治体などと協働した探究・研究活動 ◇
- ◇ 充実した諸活動 (諸行事、生徒会活動、部活動、海外研修 等) ◇



理数科を発展させた学科

設置学科
(名称未定)

新しい普通科(学際領域)



- ◇ 確かな根拠に基づく真理の追究
- ◇ 専門性の高い課題研究・校外研修を通じた科学的な学び



- ◇ 正解のない問いを粘り強く追究
- ◇ リベラルアーツ型の学びを重視し主体的・協働的な取組を実践

STEAM 教育

【佐久エリア共学共創コンソーシアム

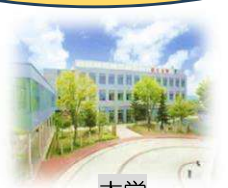
学びを支える地域のコミュニティ】



地元企業



研究機関



大学



医療機関



自治体

- **STEAM** : Science・Technology・Engineering・Arts・Mathematics の5分野を総合的に繋いだ学び
- **リベラルアーツ** : 文理を融合し特定の分野に偏らず幅広い知識や教養を身につけることを目指した学問

夢のある平和で豊かな未来を共創する「知」の探究校

- 高い志で夢のある未来を実現し、地域・日本・世界に貢献
- 基礎学力を蓄え、新時代を切り拓く「創造力」と「探究心」を獲得
- 他者と協働し、多様な価値観を共有することで育む、豊かな人間性

【グローバルな視野で自らの未来をデザインする新しい進学校】

難関大学や医学部、国公立・私立大学および海外大学進学や資格取得等
生徒が目指す、多様な“第一志望”を実現



SSH を生かした先端科学の教育プログラム

浅間山や宇宙を教材に、地域とともに探究心を楽しむ学び



- ◇ STEAM 教育を取り入れた多角的視点と学力を醸成する授業
 - ◇ 大学・研究期間・企業・自治体等と協働した探究・研究活動
 - ◇ 進路実現に向け主体的に科目選択できる「進学重視型単位制」
 - ◇ アカデミックサポーター (OB・OG) と連携した進学指導の充実
 - ◇ 実りある、充実した高校生活の実現
- 【諸行事、生徒会活動、部活動、海外研修、研究大会参加】



<理数科発展> 学術を深く学ぶ学科

【設置学科】 (名称未定)

<普通科発展> 地域を共創する学科



- ◇ 確かな根拠に基づく真理の追究
- ◇ 専門性を高める学校内外での研究を通じ、平和で豊かな世界に貢献



- ◇ 正解のない問いを粘り強く追究
- ◇ 地域の未来を共創する実践を通じ、平和で豊かな世界に貢献

【佐久エリア共学共創コンソーシアム：学びを支える地域のコミュニティ】



地元企業



研究機関



大学



医療機関



自治体

- **STEAM** : Science・Technology・Engineering・Arts・Mathematics の5分野を総合的に繋いだ学び
- **SSH (スーパーサイエンスハイスクール)** : 文部科学省が将来の科学技術系リーダー育成を目的に、理数教育の強化、探究活動の充実、国際性の推進などを目指し指定した高校

「なりたい自分」に出会える場所

～夢のある豊かな社会を創る担い手へ～

3つの「ゆう」による学校づくり



3つの「ゆう」

友

優

結

自分もいろいろな友も大切にする

優しい心と優れた力を身に付ける

地域との結びつきを大切にする



「なりたい自分」に出会える学び

より良い人間関係

様々な取組みを通じ、自己肯定感とともに対人スキルを高めます

- ・SST*1の導入
- ・クラスや学年を超えた学校行事
- ・地域の方と協働した学び
- ・SC*2、SSW*3、学生ボランティア等のサポートなど

学びの多様な選択肢

単位制や3修制により、多様なニーズに対応した幅広い学びを提供します

- ・必要な条件がそろえば卒業可能
- ・3年間でも卒業可能
- ・幅広い学校設定教科・科目
例)SST科目、キャリアデザイン(仮称)
学び直し科目、ビジネス関連科目 など

地域との連携

地域コンソーシアム*4等を活用し、知識・技能・探究力を育成します

- ・体験的なキャリア教育
- ・校外でのアクティブな探究活動
- ・外部講師を活用した探究の深化
- ・校外学習や校外活動の単位認定

など

- *1 SST(ソーシャルスキルトレーニング)・・・コミュニケーションや人との関わり方の学び
- *2 SC(スクールカウンセラー)・・・心の悩みや学校生活の不安を相談できる専門スタッフ
- *3 SSW(スクールソーシャルワーカー)・・・学校・家庭・地域をつなぎ、生活面の相談を支援するスタッフ
- *4 コンソーシアム・・・学校と地域の多様な機関が協力し、学びや支援を一緒に進める仕組み



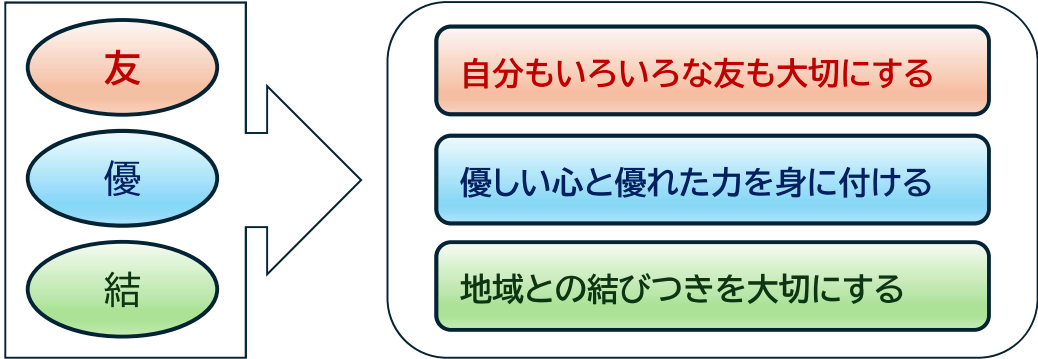
「なりたい自分」に出会える場所

～夢のある平和で豊かな未来を創る担い手へ～

3つの「ゆう」による学校づくり



3つの「ゆう」



「なりたい自分」に出会える学び

自己理解と人とのつながり
様々な取組みを通じ、自己肯定感とともに対人スキルを高める

- ・SST*1の導入
- ・クラスや学年を超えた学校行事
- ・地域の方と協働した学び
- ・SC*2、SSW*3、学生ボランティア等のサポート など

学びの多様な選択肢
単位制や3修制により、自分の生活スタイルや興味関心に応じて選べる

- ・必要な条件がそろえば卒業可能
- ・3年間でも卒業可能
- ・幅広い学校設定教科・科目
例) SST科目、キャリアデザイン(仮称)
学び直し科目、ビジネス関連科目 など

地域との連携
地域コンソーシアム*4等を活用し、知識・技能・探究力を身につける

- ・体験的なキャリア教育
- ・校外でのアクティブな探究活動
- ・外部講師を活用した探究の深化
- ・校外学習や校外活動の単位認定 など

- *1 SST(ソーシャルスキルトレーニング)・・・コミュニケーションや人との関わり方の学び
- *2 SC(スクールカウンセラー)・・・心の悩みや学校生活の不安を相談できる専門スタッフ
- *3 SSW(スクールソーシャルワーカー)・・・学校・家庭・地域をつなぎ、生活面の相談を支援するスタッフ
- *4 コンソーシアム・・・学校と地域の多様な機関が協力し、学びや支援を一緒に進める仕組み



プロジェクトK（校名・校歌・校章）

目的：新校のシンボルとなる「校名・校歌・校章」を一体的なものとするため、統一したコンセプトやデザイン感覚のもとに検討する。

目的を実現するために

- ・ワーキンググループの設置
- ・アドバイザーからの助言

懇話会：コンセプトや校名募集に関する要項等の意見交換
校名選考に係る参画（投票や選考等）
進捗状況の共有



令和10年5月 校名・校歌・校章 同時発表

★校名・校歌・校章を作成するためのコンセプト（概要）★

目指す学校像

“夢のある平和で豊かな未来を共創する「知」の探究校”

視 点

- ・深い学び
- ・多様な活動
- ・雄大な自然、歴史や伝統に根ざした文化

佐久新校 プロジェクトK(校名・校歌・校章)

高校再編推進室

生徒

WG(ワーキンググループ)

長野県教育委員会

WG(9名):校長、教頭、吉岡座長、県教育委員会、AD(アドバイザー)

- AD選定と依頼
- コンセプトの概要を検討
- 校歌の作詞・作曲者と校章制作者の検討

R8年5月 懇話会

コンセプト(概要)について意見交換

両校生徒会
文化祭企画等

- コンセプトの詳細を検討
- 校歌の作詞・作曲者と校章制作者の検討

R8年8月 懇話会

校名の公募に係るコンセプトについて意見交換

- 校名:募集要項等の検討

R8年10月 懇話会

校名募集要項等について意見交換
校歌・校章制作者の報告(予定)

佐久地域の児童生徒
応募呼びかけ

R8年11月中旬~12月中旬
「校名」募集の公募開始

- 校名:応募された校名案の整理

R9年2月上旬 懇話会構成員による【一次】投票

R9年2月 懇話会

校名:公募結果の説明、校名候補の一次選考
校歌:進捗状況等の報告・意見交換
校章:進捗状況等の報告・意見交換

【検討事項】

中高生の
参考意見の収集

- 校名:校名候補 一次選考の整理

- 校名:商標権調査及び
有識者への相談

R9年3月上旬 懇話会構成員による【二次】投票

R9年4月 懇話会

校名:二次選考(最終校名候補2~3案の決定)

- 校名:WGによる最終校名候補決定

~R10年1月 懇話会

随時、校歌・校章の進捗状況等を報告、意見交換

- 校名:再編対象校の校長から県教育委員会へ具申

- 校名:同名校、
権利侵害等の調査

R10年3月下旬 校歌・校章の完成
発表会に向けた準備

R10年3月 教育委員会
定例会で校名候補の決定

R10年5月 校名・校歌・校章の発表会

(予定)令和10年県議会
11月定例会で条例改正